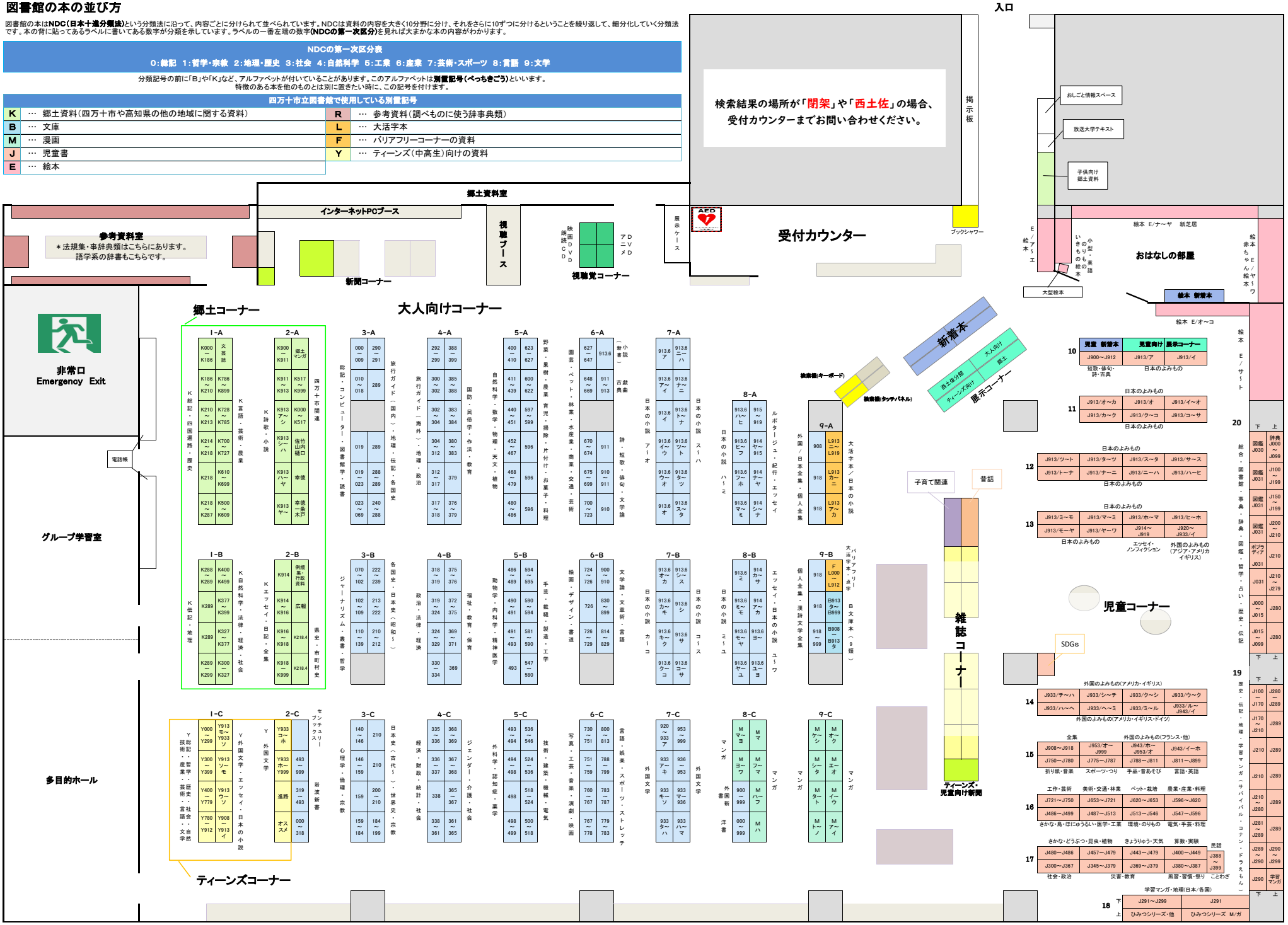
図書館の本の並び方

図書館の本は**NDC(日本十進分類法)**という分類法に沿って、内容ごとに分けられて並べられています。NDCは資料の内容を大きく10分野に分け、それをさらに10ずつに分けるということを繰り返して、細分化していく分類法です。本の背に貼ってあるラベルに書いてある数字が分類を示しています。ラベルの一番左端の数字**(NDCの第一次区分)**を見れば大まかな本の内容がわかります。

NDCの第一次区分表

0:総記 1:哲学・宗教 2:地理・歴史 3:社会 4:自然科学 5:工業 6:産業 7:芸術・スポーツ 8:言語 9:文学

分類記号の前に「B」や「K」など、アルファベットが付いていることがあります。このアルファベットは**別置記号(べっちきごう)**といいます。
特徴のある本を他のものとは別に置きたい時に、この記号を付けます。

四万十市立図書館で使用している別置記号

K	… 郷土資料(四万十市や高知県の他の地域に関する資料)	R	… 参考資料(調べものに使う辞書典類)
B	… 文庫	L	… 大活字本
M	… 漫画	F	… バリアフリーコーナーの資料
J	… 児童書	Y	… ティーンズ(中高生)向けの資料
E	… 絵本